

令和 7 年度 事 業 報 告

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

事業概要

当センターは、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、社会参加への意欲ある健康な高齢者のため、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重視し、「高齢者の福祉の増進」及び「活力ある地域社会づくりに寄与すること」を念頭に、安全で適正な就業の推進並びに会員拡大に向けた取組を進めてまいりました。

就業状況においては、依然として就業会員不足の状況が恒常化しており、近年はその傾向がさらに強まっているほか、既存会員の高齢化に伴う作業負荷の増加等の課題も解消されておられません。このような状況の中、「安全」・「適正」就業の遵守に努めながら事業運営を行ってまいりました。

また、就業会員の不足が顕著となる中、長年受託してきた施設管理に係る就業については、安定的な就業体制の確保が困難であると判断し、令和 8 年度以降の契約継続を見送ることといたしました。

会員増強及び普及啓発については、各種媒体による会員募集、委員会活動、サークル活動、各種行事及びボランティア活動等を通じて、その推進に努めました。

令和 7 年度事業実績一覧表

(金額単位：円)

		令和 7 年度	令和 6 年度	比 較
契約金額	公共	76,910,979	74,790,947	2,120,032
	民間	22,037,479	21,349,384	688,095
	合計	98,948,458	96,140,331	2,808,127
受託件数	公共	381	385	△4
	民間	375	410	△35
	合計	756	795	△39
就業延実人員	公共	2,229	2,249	△20
	民間	938	1,013	△75
	合計	3,167	3,262	△95
就業延日人員	公共	12,570	12,945	△375
	民間	3,291	3,351	△60
	合計	15,861	16,296	△435
配分金	公共	64,631,696	64,949,830	△318,134
	民間	19,286,531	18,787,202	499,329
	合計	83,918,227	83,737,032	181,195
材料費	公共	4,718,371	3,327,527	1,390,844
	民間	819,438	684,091	135,347
	合計	5,537,809	4,011,618	1,526,191
事務費	公共	7,560,912	6,513,590	1,047,322
	民間	1,931,510	1,878,091	53,419
	合計	9,492,422	8,391,681	1,100,741

事業報告

1. 就業開拓・提供事業

受託事業につきましては、東京都、大島町及び関係諸団体に対し、就業開拓等に向け日常的に連携を深めてまいりましたが、就業会員の不足や既存会員の高齢化により、令和7年度においても新たな就業分野の開発及び拡大を積極的に進める状況には至らず、「安全」及び「適正」就業の遵守に努めながら事業運営を行いました。

また、受託事業全体の調整や、一部配分金単価の見直しを行い、契約金額の実績については、公共事業において前年度対比で約2.8%増加となり、民間事業においても安定的な受注の確保に努め、前年度対比約3.2%増加となりました。

なお、事業計画に掲げていた「Smile to Smile」の活用につきましては、令和7年度中においては本格的な活用には至りませんでした。今後の活用に向けて引き続き検討を進めてまいります。

今後も、会員の経験、知識、技術及び技能等を生かした仕事の確保・提供に努めるとともに、就業開拓活動を継続しながら、就業会員の増強を図ってまいります。

2. 普及啓発事業

広報紙「シルバー大島」の年2回発行、会報誌「シルバー大島会報」の隔月発行のほか、大島町の協力により「広報おおしま」へ会員募集記事を掲載するとともに、ホームページによる情報発信を行い、センター事業の周知及び会員募集に努めました。

また、関係団体が主催する行事等へのボランティア参加や、当センター主催による作品展「創」及びシルバーカップ・ゲートボール大会を会員及び役職員の協力のもと開催し、地域住民との交流を図るとともに、センター事業への理解促進及び会員増強に向けた普及啓発活動に努めました。

なお、創立40周年記念誌を発行し、当センターのこれまでの歩みを振り返るとともに、関係者に対し、センター活動への理解促進を図りました。

3. 研修・講習事業

東京しごと財団及び第2ブロック主催の各種研修会・講習会につきましては、役職員が受講し、受講内容の共有を図ることにより、「安全」及び「適正」就業の推進並びに事故防止等の対策に活用いたしました。

また、会員の更なる知識及び技能の向上を図ることを目的として、東京しごと財団による就業支援事業を活用し、「剪定講習会」を開催いたしました。

自主講習会として計画していた和服等の着付け教室につきましては、サークル活動として主な内容を手芸に変更し9月より開催いたしました。

さらに、会員の安全意識の向上及び万が一の事態への備えとして、今年度も地元消防本部の協力のもと、「救命救急講習会（AED操作等）」を実施いたしました。

4. 調査研究事業

会員の適正な就業を推進するとともに、当センターの適正な組織運営及び体制づくりを図るため、理事会及び各委員会並びに事務局との連携を密にし、大島町及び東京しごと財団等の協力を得ながら、法令遵守、「安全」及び「適正」就業の推進、適正な請負契約のあり方等について検討を行い、必要な改善に努めました。

また、各委員会において、センター運営に関する諸課題について協議・検討を行いました。総務委員会においては、会員増強に関する施策を協議するため、関係委員会の参加のもと会員増強委員会を開催いたしました。事業委員会においては、学校用務員業務に従事する会員との意見交換会を開催し、就業上の課題や意見の把握に努めました。安全管理委員会においては、会員による事故発生時に委員会にて対応を協議するとともに、再発防止に向け、委員長が当該業務に従事する会員に対し注意喚起を行いました。

5. 相談事業

既存会員に対する就業相談を随時センター施設内で実施するとともに、新規入会希望者に対する入会説明及び相談を実施しました。

また、会員増強対策の一環として、初めて入会説明会を開催し、5名の参加があり、その後の入会にもつながりました。

さらに、平成28年度に制定した「会員紹介報奨制度」を活用し、既存会員による声掛け運動を実施した結果、今年度の新規入会者15名のうち、9名が会員からの紹介による入会となりました。

一方で、会員数は、令和5年度末215名、令和6年度末203名、今年度末では198名となっており、依然として減少傾向にあります。

また、既存会員の高齢化に伴い、就業会員の不足も顕著となっており、センターの事業運営に支障を来している状況です。

今後も、既存会員及び新規入会希望者に対する相談体制の充実を図るとともに、入会説明会の継続開催や会員紹介報奨制度の活用等により、就業会員の確保及び会員増強に努めてまいります。

6. 安全就業推進事業

シルバー事業の最優先課題である安全就業の推進を図るため、事故防止、熱中症予防等の安全就業及び健康管理に関する事項について、会報誌「シルバー大島会報」を活用し、適時適切な周知・注意喚起を行いました。

また、夏季における熱中症予防対策として、過年度より屋外作業等を中心に半日就業に取り組んでおり、今年度においてもその徹底を図るなど、会員の健康と安全に配慮した就業環境の確保に努めました。

さらに、安全管理委員会による就業現場の安全パトロールを実施するとともに、作業に必要な機材・道具等の定期点検を行い、安全就業基準の遵守及び事故防止の徹底を図りました。

しかしながら、令和7年度においては、3期連続で達成していた「事故ゼロ」は継続とはならず、事故は1件発生してしまいましたが、原因を検証し、再発防止に向けた取り組みを進めております。

今後も、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、事故防止対策の徹底、安全で適正な就業環境の確保及び就業環境の改善に努め、会員が安心して就業できる体制の確保を図ってまいります。

7. 法人運営

公益社団法人の運営について、理事会のもとに組織的かつ機能的な事業運営を行うため、総務委員会において関係規程の改正、事業計画等の検討を行い、法令遵守のもと、理事会及び各委員会を中心とした組織運営並びに事務の効率化に努めました。

また、会計期中監査、決算監査及び業務監査を実施し、監事による監査機能の充実を図るとともに、令和7年度は東京労働局職業安定部による補助金に係る経理事務指導を受け、事務処理上の細部にわたる指導はありましたが、大きな指摘事項はありませんでした。

事業実施計画に掲げた主要項目については、会員数は令和7年度末198名、就業率は60%台となり、「事故ゼロ」についても1件の事故が発生するなど、引き続き改善を要する状況となりました。

新しい公益法人制度への対応については、制度改正を踏まえ財務規程を改正し、必要な整備を進めました。また、新たな契約方法への対応については、令和8年度からの移行に向けて関係機関との調整を進め、大島町においては令和8年度より移行することができました。

今後も、公益社団法人としての適正かつ安定的な法人運営を図るため、ガバナンスの強化、法令遵守の徹底、健全な財政運営及び事務局体制の充実に努めてまいります。